

産婦人科・泌尿生殖器科

# 産科



診療科WEB



外来担当医表

TEL 022-717-7746(外来)

完全予約制

科長 齋藤 昌利

産科は総合周産期母子医療センターとして、県内のハイリスク妊娠・分娩症例を扱っています。他科と連携しながら、より良い妊娠・分娩を目指して診療を行っており、年間の分娩数は約850件となっています。また、その他にも県内の一次・二次医療機関から産後危機的出血症例をほぼ全例受け入れ、先進的かつ効率的な治療を行なっています。

日々の診療では、最新の超音波診断装置を用いて、胎児の形態評価のみならず胎児の心機能評価も行い、新生児科と密に連携を取りながらベストなタイミング、方法での分娩を求めて診療しています。また、切迫早産の原因となる子宮内炎症の評価のために羊水内のサイトカイン測定などを行い、より厳格な診断基準の下、胎児の娩出時期の決定と愛護的な帝王切開術の施行に努めています。

このような日常診療の他に、県内の周産期救急搬送症例のコーディネーター業務も行っており、一次・二次施設で発生した救急症例の搬送コーディネートも行っています。その連絡件数は年間約500件にのぼり、そのうち約200件を当院で受け入れています。

## 主な対象疾患

稽留流産、胞状奇胎、切迫流産、重症妊娠悪阻、子宮頸管無力症、切迫早産、妊娠高血圧症候群、HELLP症候群、前置胎盤、癒着胎盤、合併症妊娠、子宮内胎児発育遅延、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠、羊水過多症、羊水過小症、一絨毛膜二羊膜性双胎、胎児形態異常症、胎児染色体以上、弛緩出血、子宮破裂、子宮内反症、産道血腫、帝王切開術後合併症、胎盤遺残、RPOC、社会的ハイリスク症例